



埼玉学習センター外観

放送大学
埼玉学習センターだより

2014年5月号
(通巻33号)



秩父 芝桜の丘

さ き た ま



平成26年度第1学期 入学者の集い、菅野所長挨拶



平成25年度第2学期 生涯学習奨励賞授与式

Contents

- P 2. 客員教員着任挨拶
- P 3. 客員教員着任挨拶
- P 4. 客員教員退任挨拶
- P 5. 生涯学習奨励賞・エッセイコンテスト受賞者
- P 6. サークル紹介
- P 7. 教務係／図書室・視聴学習室からのお知らせ
- P 8. 各種お知らせ



川越 蔵づくりの街並み



あきら

安藤 陽 客員教員

専門：公企業論、
鉄道経営

平成26年4月から埼玉学習センター客員教授として勤務することになりました。専門は、広く言えば経営学・企業論ですが、特に公企業論、鉄道事業における経営問題などを研究しています。

3月に埼玉大学経済学部を定年退職しましたが、その経済学部には主に社会人を対象とした夜間主コースや社会人中心の大学院があり、若い学生だけではなく、高齢者も含む様々な年齢層の学生に接してきました。そういう意味では、放送大学は似たような教育環境にあり、前の職場と同様に、勉学意欲にあふれる、若い学生の皆さんや経験豊富な社会人の皆さんと一緒に、教え・教えられて仕事をしていきたいと思っています。

履修相談は「社会と産業コース」が中心になると思いますが、社会人教育の経験も生かして様々な相談にも応じていきたいと考えています。また、“大学院ってどんなところだろう”と興味がある方も気軽にお越しください。

面接授業では、鉄道事業を中心に鉄道経営、規制改革、企業の社会的責任（CSR）などの問題を講義する予定ですが、“サロン”では鉄道や交通に関するトピックス、最近の話題で言えば、三陸鉄道の復旧、JR北海道の一連のトラブル、あるいはリニア中央新幹線建設などを取り上げて、参加者の皆さんと討論したいと考えています。

「知は力なり」。なにをどう学ぶかも含めて、一步でもまえに進めば知の世界が広がり、さらにまた新たな興味が湧きます。多くの知識を身に着け、その断片を論理的に組み立てていくなかで、知は力になります。そうしたプロセスはきっと皆さんの仕事や人生を豊かなものにしてくれるはずです。

広い知の世界へ、未知の世界へ、一緒に漕ぎ出しましょう。

客員教員着任挨拶

素養として自然科学を楽しみましょう



永澤 明 客員教員

専門：無機化学、
錯体科学

平成26年4月に着任しました。埼玉大学大学院理工学研究科にいました。専門は化学ですが、自然科学全般や環境、工学の一部などについてもご質問を受けられると思います。自然科学分野の社会教育や理数系に秀でた児童・生徒・学生の才能教育にも取り組んでいます。気軽に声をおかけください。

私は仙台生まれで、井上ひさしの小説「青葉繁れる」の題材になった仙台一高を出て、東北大学で化学を学び大学教員となりました。旧西ドイツ滞在を経て、平成元年に埼玉大学に移ってから、さいたま市に住んで埼玉県民になっています。

化学、その中でもどんな元素の化合物でも対象とする「無機化学」や、金属元素と非金属元素との化合物を扱う「錯体化学」の分野で研究を進めてきました。本センターでは、これまで5年間「水と環境の科学」という実験を含めた面接授業を担当しました。多くの受講生の方々は化学の実験は初めてで多少難しかったのですが、熱心に取り組み、結果に興味を持ち楽しんでいただいたのが印象的でした。「子供のような好奇心といたずら心」「わかることの楽しさ」「想像力と洞察力」が自然科学の研究には必要ですが、その一端を感じていただけたと思っています。

現代の自然科学や工学は分野が細分化されていて、その最先端はどんどん進んでおり、その成果が生活の隅々にまで使われています。高校までの知識をお持ちの方々でも、また科学者でも他分野だと、先端のことは理解しにくいのが現状です。しかし、近未来の成熟社会の時代には、「最先端ともつながる素養」として、科学を皆さんに修得してファンになっていただき、科学を味方につけた新しい社会環境をつくっていくことが必要になります。そのお手伝いが少しでもできれば嬉しく思います。



半本 秀博 客員教員

専門：細胞遺伝学

今年度、埼玉学習センターに客員教員として採用していただき、皆様方とこれまで以上に深くかわらせていただくことを楽しみにしております。いたらぬ点が多々あるかもしれませんがよろしくお願いいたします。

放送大学埼玉学習センターにお世話になったのは、面接授業2科目を元客員教授松崎博先生とともに持たせていただいてからです。この面接授業は今年が5年目で最後となります。そこで感じているのは、受講生の方々のとても熱心な学習態度、質疑応答の鋭い着眼点、レポートの素晴らしさなどで、授業する側も刺激を受けることです。受講生の方々には、親しくしていただき、素晴らしい学習センターだと思っていました。

高校現場が長かったので、学校によっては、向学心を持ちながら大学進学を最初からあきらめている生徒も見てきました。放送大学では、素晴らしい学習内容や年齢を超えて、親密な学生生活が送られていることに魅力を感じました。県内の高校を中心にその素晴らしさを、進路指導部等を通じてご説明して歩きたいと思っております。

わたしは、大学卒業後すぐ教員になり、30歳代半ばで県からの大学院派遣・修士課程で学ばせていただきました。このとき各種学会に所属しつつ、さまざまな大学でもお世話になりながら研究することを覚えました。さらに細々と研究を続ける過程で博士（理学）をとりました。決してスマートな学歴ではありませんが、自分なりの生涯学習であると思っています。放送大学で、生涯学習に取り組んでいらっしゃる皆様のご苦労は他人事とは思えません。

本務との両立、介護や子育てなど大変な中で勉学に励まれていることに敬意の念を禁じえません。微力ながらお役にたつことができれば幸いです。

埼玉学習センターでは、平成26年4月に4名の新たな客員教員を迎えました。学習の方法、卒業研究、大学院進学など、修学上の様々な悩みについての学習相談に応じます。ご希望の方は、事務室窓口、電話、メール等でお申し込み下さい。日程を調整の上、相談日を決定いたします。客員教員の勤務予定日は、埼玉学習センターの掲示板及び、ホームページに掲載しています。



吉川 好昭 客員教員

専門：臨床心理学

平成26年4月1日付けで埼玉学習センターの客員教員となりました。

この紙面をお借りして簡単に自己紹介をさせていただきます。私は大学教員としての経歴は10年余で、それまでの約30年近くは家庭裁判所で家庭裁判所調査官として勤務するなかで臨床心理学を学んできました。

すでにご承知かと思いますが、家庭裁判所は夫婦や親族の紛争を解決する家事事件と未成年者の非行・犯罪などの少年事件を扱っています。家事事件は、離婚や遺産分割などの紛争解決のほかに、最近では性同一性障害を理由として戸籍訂正を求める事件や離婚時の親権の帰趨の争い、離婚後に非監護親が子どもとの面会交流を求めるもの、夫婦間にDV（ドメスティック・ヴァイオレンス）があるもの、親子間に児童虐待が認められるものなど多種多様で、その背景要因も複雑です。家事事件では、法律に従いながらも、機械的に決着をつけるのではなく当事者の納得できる形での合目的な解決を図りますし、家庭裁判所調査官は、当事者に心理的援助（カウンセリング）を実施することもあります。

少年事件においても、家庭裁判所調査官は、非行行動を社会病理学的側面から理解するとともに、人格と非行との関係に着目して精神医学的側面から、さらに家族関係と非行との関係を家族心理学的側面からも考察するなどして、当該少年の更生を図り保護の手立てを模索しながら、少年とともに歩んでいきます。少年事件も、家族や親子関係の葛藤や発達課題の未達成を反映したものが多くありますが、同時に、「振り込め詐欺」事件など成人犯罪の影響を受けたり、時代や時勢を反映した非行も多くみられます。

このように、家族の問題は、臨床心理学の視点からみると、我々に実に多くの示唆を与えてくれるので興味が尽きません。

学生の皆さん、どうか気楽に声をかけていただければと思っています。 3



松崎 博 前客員教員

専門：分子生物学、
農学博士

輝く学生の皆さんと共に

私は平成21年(2009年)4月より平成26年3月まで5年間にわたり、面接授業・講演会の講師の幹旋、授業の支援の他、数多くの学習相談、地区学生との意見交換会、CSC交流会、サークル活動の支援、ミニセミナー(サロンまつぎ)の開催、さいたま市の企画等に協力致しました。平成22年度より3コマの面接授業も担当し、講義だけでなく実験も実施しました。放送大学だけでなく埼玉学習センターにとっても記念すべき行事の多いこの5年でした。世界公開大学シンポジウム(2009)、生涯学習フェスティバル学びピア埼玉2009、放送大学創立30周年記念式典・祝賀会(2013)、各年度1学期の学習センターでの学位授与式並びに卒業祝賀会、オープンキャンパス、生涯学習奨励賞の授与式、3月の放送大学学位授与式並びに祝賀記念パーティ(2014)、埼玉学習センター開講25周年記念行事、学生研修旅行(甲斐路、富岡製糸場、見沼・川口)、毎年の埼玉フェスタ(文化祭)に参加しました。身近な話題から最新の知識まで、専門的な事もやさしく解説する”サロンまつぎ”を16回開催し、話題提供だけでなく、多くの学生・卒業生・一般の方々との意見交換・交流や、放送大学への要望、感想を伺う機会となり、学習相談の希望やサークル活動への協力も増えました。授業中に居眠りする人が殆どなく、予想外の素晴らしい質問が多く、複数コースを卒業し、幅広い年齢や多様な経験を持った“輝く学生の皆さん”と共に、私の人生にとって空前絶後、想定外の豊かな充実した5年間でした。

学生の皆様、卒業生の皆様、多くの教職員の方々のご厚情とご支援に改めて心から御礼申し上げ、今後共皆様がお元気でますますご活躍されるようお祈り申し上げます。

客員教員退任挨拶

面接授業を始め、各行事への参加、ミニサロンの開催など、学生との距離も非常に近く、お二人の先生には感謝の気持ちでいっぱいです。
ありがとうございました！！



箕輪 徳二 前客員教員

専門：経営財務論

私は、平成24年4月1日から2年間、埼玉学習センターにおける入学者の集い、生涯学習奨励賞授与式に参加するとともに、面接授業、学習相談等を手伝わせていただきました。

学習センターの行事に参加し、面接授業を担当させていただいて、若い人から年配者まで、勉学意欲に燃える学生たちの熱気に触れることができ、感激いたしました。特に、学生の多くが、複数の履修コースを修了するという興味の多方向性と向学心の熱意には、敬意を表すところです。

学習センターの同窓会の人たちによる、新入生、在学生への勉学の取り組み方、学生生活を充実させるためのアドバイス等の献身的な取り組みにも感心いたしました。

学習センターで学ぶ、年齢を超えた社会人学生の交流が、交流する学生一人ひとりに新しい刺激を相互に与え合う、放送大学でしか得ること出来ない「学問の学びの場」を通じての大きな財産であることを知ることができました。皆さんが、この無形の交流財産を有効活用し、学問の学びを一層発展させていっていただきたいと存じます。

2年間、交流・支援いただきました学生並びに教職員の皆様に心より感謝を申し上げます。

平成25年度第2学期

生涯学習奨励賞

2013年度

エッセイコンテスト

埼玉学習センターでは、複数の専攻・コースを卒業・修了された方に対し表彰する制度「生涯学習奨励賞」を設けております。平成25年度第2学期卒業・修了生からも11名の方々が表彰されました。

また放送大学の全学生の方を対象とした2013年度放送大学エッセイコンテストでは、埼玉学習センター所属の2名の学生が入賞いたしました。皆様、誠にありがとうございます。生涯学習奨励賞受賞者より、岡里様、山田様、岡安様、山崎様、エッセイコンテスト受賞者より、佐藤様の感想を掲載いたします。

金

「喜びと励まし」

「心理と教育コース」卒業 岡里順子

この度の「生涯学習奨励賞 金賞」受賞は、放送大学で勉学を続けてきた私にとって大きな喜びで、更に学び続けるようにとの励ましと受け取りました。今回卒業のコースでも前回の「人間と文化」に続いて卒業研究に取組みましたが、担当教授のご指導と学習センターのサポートに加えて、学生仲間の応援があったから完成できたと感謝しています。資料調べやパソコンの入力で苦労しながらも充実した日々の中で、家事の手抜きを大目で見えてくれた家人の協力にも感謝。

「自然と環境」に継続入学しましたが、理数系の苦手に加えて脳力の衰えが顕著の昨今、卒業は何年先になるか分かりません。座右の銘「You are never too old to learn.」をお守りに、勉学を続けようと思います。

金

80才代「楽しい学び」を。

山田之人

一、60才代「学び直し」。卒業研究。

バブル経済崩壊後、'93年末、定年退職。「毎日が日曜日」、夢と不安のくらしでした。

'95年、放送大学入学。「生活と福祉」専攻。家族、健康、福祉など身近な事柄が新鮮でした。

'97年、「社会と経済」専攻。社会の諸分野を幅広い視点で学び、問題を考えました。在籍4年半。苦戦科目、「メディア論」等。団地内ふれあいサークル「ティータイム」立ち上げ。街道歩き、旧中仙道―旧山陽道・下関着。

'01年、「発達と教育」専攻。「家庭、学校、地域社会」、「生涯学習と自己実現」等の学び。60才代学びの総決算、私の記念碑として卒業研究「定年後の生涯学習」で修了。

二、70才代、わたくし流の学び。

'05、「人間と文化」コースへ。様々な分野を含む。受講2、3科目に減らし、じっくり学ぶ。在籍9年。'04年、鴻巣に転居。'06年、ガン手術。地域活動を拡大。写経。夫婦海外旅行等が新たな自分発見につながりました。

三、80才代、「楽しい学び」を。

「情報」コースに再入学。目標。

- 1、初めてのパソコン習得。
- 2、情報の発信。
- 3、2度目の卒業研究。

銀

大学院への道

岡安孝一

私は放送大学へ入学して20年になりました。当初は孤独な勉強を続けていましたが、1年半後に「サークル おおみや」へ入会しました。そこで出会った先輩方から、卒業研究を選択するように勧められ、その準備に入りました。「3年で卒業単位をゲット」を目標に頑張り、129単位を取得し、4年目は卒業研究に力を注ぎ卒業しました。

その後再入学、卒業と続き、3回目の途中で大学院修士課程が設置されました。運試しの受験で予想外の合格。それから2年間、修士論文作成に没頭し、今から10年前に、第1回修了生344名の1人として、修士の学位を得ることができました。これは大学での卒業研究が、大学院への道を開いたのだと思っております。

後半の10年間はゆっくりと学び、2回卒業して、生涯学習奨励賞銀賞を頂き、光栄の至りです。

3月21日のNHKホールでの卒業式には、最前列への着席ができたので、私の姿が何度も放映されました。事前に放送日程を友人、知人、親戚へ知らせておきましたので、多くの方々に、テレビ放送での卒業式へ参列してもらいました。視聴した方々からお祝いの言葉を頂き、放送大学のPRができたと思います。そして今年7回目の入学をしましたが、健康である限り、勉強を続けていこうと考えております。

銀

山崎綾子

入学式の時、放送大学の友人3人作ってください、との言葉がありました。その言葉がずっと頭のすみにありましたが、挨拶程度の顔見知りの方もそれ以上に進むこともなく、卒業研究せず、学部卒業。ものたりなさから再入学。たまたま事務の方との雑談後、学習相談を受けることができ、卒業研究へとつながりました。修士論文を学ぶゼミに参加させていただき、これが大学というものか、と驚きました。自分の興味ある分野を研究し、自分の考えをまとめる、発表する。ワクワク、ドキドキ、の連続でした。事務の方の後押し、学習相談、ゼミの方々の真摯な態度と仲間への励まし、指導教官と教員の先生方の助けの集大成が卒業研究。3人以上の輪がひろがり、自分の世界もひろがり、また新しい事に挑戦したくなります。

佳作

「エッセイコンテストを受賞できて」

佐藤 マサ子

放送大学で知り合った仲間に、私の腎臓を主人に移植したことを話した所、皆さん大変驚かれ、「その貴重な体験をエッセイコンテストに応募してみたら」と言われました。これは私にとって初めての挑戦でしたが、試行錯誤を繰り返し何とか提出することが出来ました。

そんな私に思いがけず受賞の連絡があり、3月25日、岡部学長より表彰状と副賞を頂くことができました。長い人生の中で、このように晴れがましく、嬉しく思えたのは初めてでした。

厳正なる選考の流れを聞き、気恥ずかしい思いもりましたが、改めて自分の作品が受賞に至ったことに感謝しました。

それは私が生体腎移植について多くを学び、身をもって体験したことを書き示すことで、改めて普通の生活を過ごせることに感謝できたからです。

この受賞をさらなる糧として、これからも生涯学習に一層努力していきたいと思えます。ありがとうございました。

生涯学習奨励賞受賞者

【金賞】4名

岡里順子様 加治原 二仁様
田中修様 山田 之人様

【銀賞】6名

荒川 廣子様 岡安 孝一様 金坂 祐爾様
川面 より子様 山崎 綾子様 割田 くに子様

【銅賞】1名

小谷野 雅明様

エッセイコンテスト受賞者

【佳作】2名

今野 啓次様 佐藤 マサ子様

サークル紹介

放送大学ソーシャル ダンスクラブ



代表者 及び 連絡先
坂田 友信
042-985-1004

ソーシャルダンスクラブは、平成3年に設立されたクラブです。当初は設立者が指導されていたそうです。現在は、日本舞踏教師協会公認の先生とアマチュアの指導資格を持つ男女2名の方が指導補助で指導されております。会員は30名弱ほどですが、会員の中には仕事を持っている人もあり、毎回練習に参加されるのは難しいようで70%位の参加人数です。練習場所は、学習センターの講堂と他の公共施設です。練習場所が、思うように確保できにくい状況です。年齢幅も層が厚く、皆明るく元気で楽しくやっております。レッスン後に食事タイムで練習時に取れないコミュニケーションをとっているよう

です。

指導教師がよく言われることにサークルを楽しくやりましょう、それにダンスの一曲は、アマルガメイション(一曲を踊るステップの組み合わせ)が50前後のステップで構成されており、脳にかなり刺激になります。実際に新聞の紙面にお医者さんが脳の刺激に効果があることを紹介されておりました。2時間ほどの練習ですが、かなりの運動と量です。姿勢の保持、足の筋肉運動それに脳の刺激と体及び脳の適度なトレーニングになると思います。初心者大歓迎、経験者の方も是非一度講堂で練習のある時に、練習風景を見学して見てください。8Fロビーにあるホワイトボードに予定が記載されています。練習日は土曜日午前中です。お待ちしております。



未来の会



代表者 及び 連絡先
嶋崎 洋明
048-772-7694

未来の会は、平成17年3月より黒澤先生の面接授業を受けたメンバーが結束して出来たサークルです。30名余りの在籍者を維持しており、会発足から「ミニコミ誌」を編纂して会員の活動に寄与しています。現在NO14号迄発行出来ました。「絵手紙教室」・「黒澤先生による読書会」・「近隣の散策」等を実施しております。会員の増える事を希望します。

埼玉フェスタでは「絵手紙教室」が好評です。毎年会員の作品を展示し、50円のハガキに筆、墨での手書きで自分の作品が配達される仕組みです。初めての方でも体験出来るようフェスタ当日「一日体験」を開催しました。会員の野口さんが先生です。『へたがいい・へたでいい』のキャッチフレーズそのままぶっつけ本番で皆様に描いて貰っています。昨年は菅野所長の視察もありまして盛り上がりました。

「黒澤先生の読書会」は先生指定の本を読み、3回位に分けて解説及び質疑応答を行い、本の内容を十分に理解できるように指導を受けております。

近隣の「紫陽花・古代蓮」「妻沼の聖天様」「渋沢栄一・荻野吟子」の足跡等を訪ねる催しも行って居ります。気軽に教室に足を運んで下さい。

注)黒澤先生 武蔵大学名誉教授、未来の会の顧問

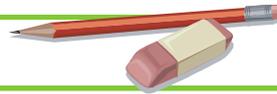
活動場所 埼玉学習センター講義室

活動時間 絵手紙教室月1回不定期

読書会・催行も不定期



教務 平成26年度第1学期単位認定試験について



◆大学院の試験◆
平成26年7月25日(金)・26日(土)

※本部から直接送付される受験票で、科目・日時・試験室等を確認し、同封の「単位認定試験受験に際しての注意事項」をよく読んでから受験してください。

◆学部の試験◆
平成26年7月27日(日)～8月3日(日)
※7月28日(月)及び、8月1日(金)を除く

※平成26年度第1学期に登録した科目と再試験科目が同一試験日・時限となる場合は、いずれか1科目を選択して受験することとなりますので、注意してください。

教務 平成26年度第2学期科目登録について

科目登録は“システムWAKABAでのWeb”か“郵送”での登録のどちらかになります。

【申請期間】 ●詳しい申請方法等は「科目登録申請要項」、ホームページでご確認下さい。

① システムWAKABA 平成26年8月15日(金) 9:00～8月31日(日)24:00まで
※Web登録に限り、期間中の科目の追加・削除が可能です。

② 郵送 平成26年8月15日(金)～8月30日(土) **大学本部必着**
※郵送の場合は、提出後の変更は一切できませんので注意してください。

教務 郵送（第四種郵便）による放送教材の貸出について



埼玉学習センターでは、郵送による放送教材の貸出しを行っています。
ご希望の方は、下記の要領で手続きしてください。
※「申込書」は埼玉学習センターのホームページからダウンロードできます。

対象者：埼玉学習センター所属の学生（休学中及び、貸出放送教材の返却が遅れている方は利用できません。）

貸出範囲：履修している科目・再試験科目 ※閉講科目は除く

（試験期間終了後から期末図書閉室期間前日までは、全ての科目を借りることができます。）

貸出本数：3本まで

貸出期間：センター発送日からセンター到着日含めて9日間

送 料：往復分とも申込者（学生）の負担

申込方法：「郵送（第四種郵便）による放送教材貸出申込書(※)」に必要事項を記入し「学生証の写し」を貼付のうえ、送料分の切手を同封し、埼玉学習センターへ送付してください。

図書 図書室・視聴学習室の利用について



◆図書室・視聴学習室ご利用の際には、**学生証を提示**してください。

◆入室の際、学習に必要なもの以外は持ち込まないでください。**鞆や飲食物の持ち込みは禁止です。**荷物が
多い場合は、カウンターでビニールの手提げ袋を貸出していますので係員に声をお掛けください。

◆貸出図書の**返却期限は必ず守ってください。**更新を希望する場合、またやむを得ず返却日に間に合わない
場合などは、早めに連絡してください。**延滞中の場合は、返却するまで、本部及びすべての学習センター
からの新規貸出サービスが受けられなくなりますので注意してください。**

◆7月25日(金)から単位認定試験が始まります。**下記の期間は貸出停止となりますので注意してください。**

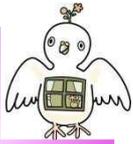
【図書資料】平成26年7月11日(金)～8月3日(日)まで

【放送教材】平成25年7月18日(金)～8月3日(日)まで

◆9月18日(木)～21日(日)は学期末図書整理作業のため、図書室・視聴学習室は閉室になります。
作業に伴い、9月18日(木)～10月5日(日)は図書・放送教材とも貸出停止となります。

◆放送教材・図書資料等の時間外返却用のブックポストを、10Fエレベーターホール（東側）に設置
していますのでご利用ください。利用時間は、学習センターの閉所時間から翌日開所時間までの間です。
（なお、**放送教材返却の際は必ず「学習センター利用の手引き」を添付してください。**）

学生募集



●平成26年度第2学期放送大学学生募集

平成26年度第2学期教養学部「全科履修生」、「選科履修生」、「科目履修生」及び大学院文化科学研究科「修士選科生」、「修士科目生」の学生募集を下記の日程で行います。皆さんの友人・知人にも放送大学の素晴らしさ、学ぶことの楽しさを伝え、一緒に学友になりませんか。

出願方法は、下記いずれか一つの方法でお願いします。

①インターネット出願、または ②郵送出願(本部)

【出願期間】 ※予定 ・詳細は募集要項、ホームページ等でご確認下さい。

①インターネット出願 平成26年6月15日(日)～8月31日(日)

②郵送出願 平成26年6月15日(日)～8月31日(日) 必着

●平成27年度修士全科生・博士全科生(4月入学)募集(大学院)

平成27年度「修士全科生」、「博士全科生(4月入学)」の学生募集も開始されます。

【出願期間】平成26年8月中旬～8月下旬 ※予定

・詳細は募集要項、ホームページ等でご確認下さい。

※上記の募集要項配布は6月中旬からです。詳細は事務室にお問合せください。



知人・友人等
をご紹介ください！

知人・友人等と一緒に学びませんか？紹介いただいた方が埼玉学習センター所属で入学された場合、ご紹介者の方に薄謝を進呈いたします。

詳しくは10階
窓口まで。

オープンキャンパス

埼玉学習センターでは、下記の日程にてオープンキャンパスを開催いたします。知人・友人の方等、放送大学に興味をお持ちの方がいらっしゃいましたら是非ご案内ください。申込は電話及び、事務室窓口で受付いたします。なお、当日直接のお越しの方も大歓迎です。

内容◆放送大学概要説明

◆卒業生体験談

◆センター見学

◆個別相談

◆面接授業見学

(※面接授業見学は、第1回及び第2回のみの実施となります。)

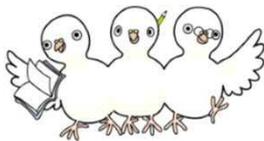
第1回 平成26年 7月 6日(日)

第2回 7月 19日(土)

第3回 8月 9日(土)

第4回 8月 17日(日)

※ いずれも14:00～ 2時間程度を予定。



個別相談会



看護学士取得！看護師国家試験受験！！を目指す方々

看護学士取得をお考えの方、また放送大学との併修で、看護師国家試験の受験を目指しご入学をお考えの方、並びに、すでに在学されている方向けに、個別相談会を開催いたします。

放送大学の学習システムやスケジュール、仕事と学習の両立について、また失敗しない単位の取り方など各種の疑問、質問に細かくお答えいたします。

日時 ◆7月17日(木)、8月12日(火)

◆10:00～ ※一人30分程度

場所 ◆放送大学埼玉学習センター 9F講義室

定員 ◆各日20名様(※要予約(申込み順)、参加無料)

●申込は電話及び、事務室窓口で受付いたします。

埼玉学習センターに関する情報は、ホームページでいち早くお知らせしています。是非、ご覧ください。

<http://www.sc.ouj.ac.jp/center/saitama/>

〒330-0853 さいたま市大宮区錦町682-2

大宮情報文化センター内(受付:10階)

放送大学埼玉学習センター

TEL 048-650-2611 FAX 048-650-2615

